



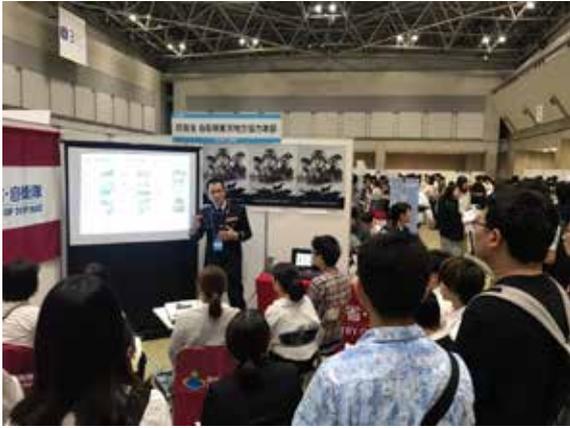
東京ビッグサイトにて自衛隊をPR

東京地本（本部長 荒井陸将補【当時】）は6月22日、東京ビッグサイトで開催された「マイナビ インターシッピングEXPO」に参加し、東京地本のブースを開設して自衛隊の役割・活動等について説明した。

インターシッピングとは、就業体験を通じて仕事や社会への理解を深める制度であり、当該イベントでは参加企業等が各ブースでそれぞれの業務内容等を説明し、インターシッピングに繋げていくことを目的としており、東京地本でも駐屯地・基地等で開催するオフィスツアー等の参加型説明会を企画・実施している。

当日は、約320社の企業及び大学1・2年生、専門学生ら約2万人の学生が参加、東京地本のブースにも約700名の学生が訪れ、熱心に説明を聞いていた。学生からは「自衛隊のイメージが変わった」「女性も活躍できる組織だということがわかった」等の声が聞かれた。

東京地本募集課は、今後も就活イベント等を積極的に活用し、自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの優秀な人材及び志願者を確保していきたいとしている。



出身校で自衛隊をPR

東京地本台東出張所（所長 武下3陸佐）は、7月1日に上野法律専門学校、7月5日に私立岩倉高校において自衛官採用説明会を開催した。

両校での説明会は毎年実施しており、自衛隊へ入隊・入校した両校の卒業生は多方面で活躍している。上野法律専門学校では、平成29年に一般曹候補生として入隊し、現在は第1001施設器材隊（古河駐屯地）で勤務する白鳥士長が、自衛隊を志願したきっかけ、入隊から現在に至るまでの経験談や部隊での生活について説明した。また、広報官の横山曹長が一般曹候補生及び自衛官候補生に関する制度も説明し、学生からは「今まで思っていた事と違う事がたくさんあった」「受験を考えた」と等の感想があった。

私立岩倉高校では、平成29年に自衛官候補生として入隊した第1空挺団（習志野駐屯地）で勤務する諏訪士が、入隊したきっかけや第1空挺団の概要、勤務して感じたことを語り、自衛隊のイメージアップに役買っていた。

台東出張所は、今後も部隊と連携して積極的に採用広報活動を実施し、自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの方に自衛隊に興味をもってもらい募集基盤の強化及び拡大に繋げていきたいとしている。



雇用企業主等が即自コミュニティ・デーに参加

東京地本（本部長 荒井陸将補【当時】）は7月20日、陸上自衛隊朝霞駐屯地において、第31普通科連隊が主催する即応予備自衛官コミュニティ・デー（即自コミュニティ・デー）に雇用企業主等16社36名を招いた。

本イベントは雇用企業主や家族等に対し、即応予備自衛官招集訓練及び装備品の見学、また自衛隊車両の体験試乗等を通じて、即応予備自衛官制度の普及や理解の促進、自衛隊に対する信頼感の醸成を図ることを目的としており、昨年以來2度目の開催となる。

部外訓練を見学し、即応予備自衛官として普段とは違う姿を目のあたりにした上司・同僚、家族らは、訓練参加隊員の迫力に負けないほどの大声援を送っていた。また、自衛隊の炊事車を使用した調理実演では、隊員特製の「カレーライス」や「から揚げ」を試食する等、今回の即自コミュニティ・デーは参加者に大好評であり、予備自衛官等制度の充実に関する協力の声が多く寄せられた。

東京地本予備自衛官課は予備自衛官等制度の普及、特に本業との「二足のわらじを履く」即応予備自衛官及び予備自衛官の充足向上のため、今後も各種広報イベント、自衛隊の部隊研修、訓練見学等、活発な広報活動を通じて幅広い業種・年齢層に対して制度普及を実施していくとしている。

